

令和3年度

事業報告

社会福祉法人滋宏福社会

令和3年度 法人本部 事業報告

兵庫県では、令和2年4月7日から新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項に基づく緊急事態措置実施区域となり、医療・検査体制・外出自粛など多岐にわたる対策等が実施されました。令和3年度では、年度の大半がまん延防止重点措置又は緊急事態措置でした。事業所では感染予防に留意した上で、利用者やその家族の生活を維持するため、サービス提供の継続をおこないました。

施設経営では、透明性の確保・職員の経営理念・経営方針の共有化を図り、施設利用者がより安全で安心して生きがいもてる、地域社会への開かれた施設運営をめざし、法人本部の機能強化並びに人材確保・育成策等を充実強化することを目的として事業を実施しました。

1. 評議員会開催状況

(1) 定時評議員会 書面決議

審 議 内 容
(議案) ・令和2年度 事業報告について ・令和2年度 決算報告及び監査報告について ・新理事候補者の選任について ・新監事候補者の選任について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、評議員会の決議の省略

社会福祉法第45条の9第10項で準用する一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第194条

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和3年6月7日(月)

(2) 第2回評議員会 書面決議

審 議 内 容
(議案) ・令和3年度 補正予算について ・令和4年度 事業計画について ・令和4年度 事業予算について ・理事の辞任について ・新理事の選任について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、評議員会の決議の省略
 社会福祉法第 45 条の 9 第 10 項で準用する一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 194 条
 評議員会の決議があったものとみなされた日
 令和 4 年 3 月 8 日 (火)

2. 理事会開催状況

(1) 第 1 回理事会 書面決議

審 議 内 容
(議案) ・ 令和 2 年度 事業報告について ・ 令和 2 年度 決算報告及び監査報告について ・ 新理事候補者の推薦について ・ 新監事候補者の推薦について ・ 令和 3 年度第 1 回評議員会の招集について

報告事項

- ・ 職員の定期昇給について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、理事会の決議の省略
 社会福祉法第 45 条の 14 第 9 項で準用する一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条及び定款第 28 条第 2 項
 理事会の決議があったものとみなされた日
 令和 3 年 5 月 22 日 (土)

(2) 第 2 回理事会 書面決議

審 議 内 容
(議案) ・ 理事長の選定について ・ 次期評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について ・ 次期評議員選任・解任委員の選任について ・ 評議員選任・解任委員会開催日時等の決定について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、理事会の決議の省略
 社会福祉法第 45 条の 14 第 9 項で準用する一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条及び定款第 28 条第 2 項
 理事会の決議があったものとみなされた日
 令和 3 年 6 月 16 日 (水)

(3) 第3回理事会

日 時 令和3年10月23日(土) 13時30分～14時31分
場 所 医療法人達磨会 東加古川病院新館4階 多目的ホール
出席者 理事定数6名以上10名以内、現在員10名中出席者10名
監事定数2名、現在員2名中1名

審 議 内 容
(議案) ・保有自動車管理規程の廃止と車両管理規程の制定について ・私有車両通勤管理規程の制定について ・自転車通勤管理規程の制定について

報告事項

- ・理事長の選定結果及び登記完了について
- ・評議員選任・解任委員の選任結果について
- ・評議員の選任結果について
- ・各事業中間報告について

(4) 第4回理事会

審 議 内 容
(議案) ・令和3年度 補正予算について ・令和4年度 事業計画について ・令和4年度 事業予算について ・就業規則の一部改正について ・ハラスメントの防止等に関する規程の制定について ・虐待防止対応規程の制定と虐待防止委員会運用指針について ・身体拘束等適正化指針の制定について ・施設入所支援事業 運営規程の一部改正について ・指定生活介護事業 運営規程の一部改正について ・自立訓練(生活訓練)事業 運営規程の一部改正について ・短期入所事業 運営規程の一部改正について ・就労継続支援B型第1工房 運営規程の一部改正について ・就労定着支援事業 運営規程の一部改正について ・就労継続支援B型第2工房 運営規程の一部改正について ・地域活動支援センター 運営規程の一部改正について ・相談支援事業 運営規程の一部改正について ・日中一時支援事業の事業開始について

- ・役員等賠償責任保険契約について
- ・施設長の解任について
- ・新施設長の選任について
- ・理事の辞任について
- ・新理事候補者の推薦について
- ・第2回 評議員会の招集について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、理事会の決議の省略

社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条及び定款第28条第2項

理事会の決議があったものとみなされた日

令和4年2月21日（月）

3. 監査実施状況

(1) 監事監査

日 時	令和3年5月7日（金）10時00分～11時50分
場 所	障がい者支援センター「てらだ」3階会議室
監 事	淡路実・中田喜高
監査項目	令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の業務執行及び財産の状況等について

4. 評議員選任・解任委員会開催状況

(1) 第1回評議員選任・解任委員会

日 時	令和3年6月29日（火）10時00～11時40分
場 所	障がい者支援センター「てらだ」3階会議室
委 員	中田喜高・中田富子・今井幸登美
議 題	社会福祉法人滋宏福社会 評議員の選任について

5. 寄附採納

- (1) 令和3年4月20日
 医療法人達磨会 東加古川病院
 物品 PCR検査キット 25個

- (2) 令和3年4月27日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S (6箱) M (12箱) L (4箱) 他 (33袋)
手指消毒液 1ℓ 4本
- (3) 令和3年7月19日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S (8箱) M (12箱) L (4箱) 他 (44袋)
- (4) 令和3年8月16日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S (14箱) M (20箱) L (7箱) 他 (51袋)
- (5) 令和3年9月9日
加古川市
物品 使い捨てマスク 70箱
- (6) 令和3年10月7日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S (4箱) M (6箱) L (2箱) 他 (17袋)
- (7) 令和3年12月21日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S (8箱) M (15箱) L (5箱) 他 (27袋)
使い捨てマスク 20箱
- (8) 令和4年3月18日
兵庫県
物品 使い捨て手袋 S (30箱) M (30箱) L (30箱) 他 (150袋)
使い捨てマスク 140箱

6. 研修の状況

新型コロナウイルスの感染状況を受け、必要とされている研修が先延ばし又は中止となってしまうことは、法人にとって福祉サービスの低下に繋がってしまいます。福祉職にとっての研修は、日々の業務を振り返りながら、各自の知識や技術を向上させ、施設のサービスの質を維持・発展させていくために、とても大切なものであることから、オンライン研修等を織り交ぜ職員の資質の向上に努めました。内部研修では感染拡大防止対策を徹底し、外部研修に至っては、感染拡大防止対策等を講じている研修会に職員を参加させました。

(1) 内部研修会（全職員参加）

- ① 避難訓練・防災訓練・地震訓練
- ② 救命救急研修会（AED）
- ③ 外部研修参加者による発表
- ④ 権利擁護・虐待防止研修

(2) 外部研修会

- ① 会計実務担当者研修 1名出席
- ② 会計実務担当者研修（予算・決算編） 1名出席
- ③ フォークリフト講習 4名出席
- ④ 労働保険事務研修 1名出席
- ⑤ 兵庫県栄養士 東播磨圏域研修会 1名出席
- ⑥ 福祉サービスに関する苦情解決セミナー 1名出席
- ⑦ 相談支援専門員の役割 1名出席
- ⑧ 兵庫県強度行動障害支援者養成研修 1名出席
- ⑨ 医療的ケア児支援者養成研修 1名出席
- ⑩ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 1名出席
- ⑪ チームアプローチ実践研修 1名出席
- ⑫ サービス管理責任者基礎研修 1名出席
- ⑬ 電気講習会 1名出席
- ⑭ リスクマネジメント（虐待防止）研修 1名出席
- ⑮ ストレスマネジメント研修 1名出席
- ⑯ 福祉専門職対象防災対応力向上研修 1名出席
- ⑰ 主任相談支援専門員養成研修 1名出席
- ⑱ 相談支援従事者現任研修 WEB 4名出席
- ⑲ 相談支援従事者初任者研修 WEB 1名出席
- ⑳ 思いを伝える、コミュニケーション基礎研修 1名出席

(3) 事故及び感染症予防対策委員会 2カ月に1回開催

令和3年度 事故報告 スタッフによる事故 9件

(怪我・交通事故・車両物損・事務処理ミス等)

利用者による事故 10件

(転倒・怪我・車両物損等)

ヒヤリ・ハット事例 66件

利用者が施設において、安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット、事故報告書により未然防止及び再発防止に努めました。

7. 各事業利用状況等推移

(1) 各年度3月31日現在利用契約者数

	定員	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設入所	30	30	30	29	30
(内)生活介護	(20)	(20)	(19)	(20)	(19)
(内)自立訓練	(10)	(10)	(11)	(9)	(11)
就労B型第1工房	20	58	48	46	46
就労B型第2工房	20	33	29	31	30
地域活動支援センター	20	30	25	25	28
合計	90	151	132	131	134

(2) 利用者年齢構成

施設入所	年代	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	20歳台	1	2	1	0
30歳台	2	2	1	0	
40歳台	4	6	7	11	
50歳台	6	5	5	4	
60歳台	12	8	8	6	
70歳以上	5	7	7	9	
就労B型第1工房	年代	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	20歳台	5	5	3	3
	30歳台	17	10	12	11
	40歳台	19	15	13	13
	50歳台	11	12	12	13
	60歳台	6	5	5	5
	70歳台	0	1	1	1
就労B型第2工房	年代	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	20歳未満	0	0	2	0
	20歳台	22	17	18	16
	30歳台	2	2	1	4
	40歳以上	9	10	10	10
地域活動支援センター	年代	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	20歳未満	0	0	1	0
	20歳台	7	7	6	8
	30歳台	5	6	6	6
	40歳台	8	5	5	6
	50歳台	6	4	3	4
	60歳以上	4	3	4	4

(3) 地域移行等実績

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設入所	合計	5	8	4	6
	(内訳) 一人暮らし	(3)	(3)	(2)	(2)
	自宅	0	(2)	(2)	0
	GH	(1)	(1)	0	(1)
	入院	(1)	(2)	0	(3)
	その他	0	0	0	0
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
就労支援B型	合計	10	21	9	3
	(内訳) 就職	(5)	(6)	(2)	0
	他施設	(3)	(7)	0	(3)
	体調不良	(2)	(8)	(2)	0
	その他	0	0	(5)	0
				令和2年度	令和3年度
				第1工房	第2工房
				第1工房	第2工房

(4) 行政相談受案件数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
行政相談	合計	94	43	41	24
	(内訳) 加古川市				
	高砂市	(44)			
	稲美町	(46)	(38)	(36)	(15)
	播磨町	(4)	(5)	(5)	(9)

(5) 計画相談実施件数	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
計画相談実績	2,190件		2,268件		2,276件		2,176件	

(6) 利用率及び利用料収入

	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
施設入所	97.2%	39,867,837	95.4%	37,656,065	97.4%	39,076,389	92.7%	38,076,461
生活介護	91.3%	38,914,175	91.0%	38,583,244	89.8%	38,193,930	87.2%	36,397,269
自立訓練	90.2%	18,950,941	85.7%	17,800,954	87.8%	18,456,737	87.0%	18,195,635
短期入所	67.9%	2,586,380	82.9%	3,174,882	56.8%	2,223,085	85.2%	2,974,917
就労B第1工房	110.3%	51,539,571	110.4%	51,552,441	108.6%	50,005,627	100.9%	46,515,620
就労B第2工房	102.6%	46,300,820	101.8%	43,232,143	102.3%	43,159,865	100.6%	41,834,526
就労定着			5件	181,964	21件	687,288	21件	810,916
相談支援	2,195件	34,711,003	2,268件	39,014,828	2,276件	39,588,657	2,176件	39,392,808
合計		232,870,727		231,196,521		231,391,578		224,198,152

(7) 事業受託状況

① 地域活動支援事業

		平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
		合計	13,260,000	合計	12,875,000	合計	13,026,000	合計	13,100,000
<内訳>	加古川市		10,631,000		9,669,000		9,234,000		9,630,000
	高砂市		0		0		758,000		730,000
	稲美町		657,000		784,000		758,000		669,000
	播磨町		1,972,000		2,422,000		2,276,000		2,071,000

② 相談支援事業

		平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
		合計	3,456,000	合計	2,314,666	合計	2,326,000	合計	2,347,000
<内訳>	加古川市								
	高砂市		1,152,000						
	稲美町		1,152,000		1,162,666		1,174,000		1,174,000
	播磨町		1,152,000		1,152,000		1,152,000		1,173,000

令和3年度 各事業 事業報告

I. 施設入所支援事業

1. 施設入所、生活介護、自立訓練（生活訓練）、短期入所の利用状況について

事業	定員 (人)	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)
施設入所	30	95.4	37,656,065	97.4	39,076,389	92.7	38,076,461
生活介護	20	91.0	38,583,244	89.8	38,193,930	87.2	36,397,269
自立訓練	10	85.7	17,800,954	87.8	18,456,737	87.0	18,195,635
短期入所	2	82.9	3,174,882	56.8	2,223,085	85.2	2,974,917
合計 (円)			97,215,145		97,950,141		95,644,282

2. 施設入所者の地域生活移行について

移行先	一人暮らし	グループホーム	入院	合計
移行人数	2名	1名	3名	6名
性別・年代	男性 20代1名 男性 50代1名	男性 40代1名	男性 70代1名 女性 70代1名 男性 50代1名	

3. 新規入所者

事業	生活介護	自立訓練	合計
性別・年代	男性 60代1名 女性 40代1名	男性 40代3名 男性 50代2名 男性 60代1名	8名

4. 活動報告

- ・コロナ禍のため入所希望者の見学、体験入所はおこなわず入院中にリモートによる面談を数回繰り返し施設入所につなげていきました。
- ・コロナ禍のため日中活動の好評であったカラオケ、料理やおやつ作りを中止し、お仕事チームの作業活動や映画鑑賞、風景動画鑑賞等をおこないました。
- ・自立訓練の利用者を中心にメタ認知トレーニングを継続して取り組みグループワークをおこない他者の考えや意見を聞く場を設け、様々な捉え方や考え方ができるという気付きにつながり結果、自己肯定感の向上が見られました。
- ・行事については飲食を伴うものは中止し、寺田池周辺を使用したスタンプラリーは好評で普段なかなか外に行かない方も外出できていました。

II. 就労継続支援B型事業 第1工房

- ・令和4年3月31日現在の契約者数 46名
- ・令和3年度新規契約者数 3名
- ・令和3年度契約終了者数 3名
- ・退所理由内訳

体調不良	就労	他施設へ	その他
0	0	3	0

- ・利用率及び平均工賃

	利用率	利用料	平均工賃
令和2年度	108.6%	50,005,627円	11,903円
令和3年度	100.9%	46,515,620円	9,585円

- ・活動報告

- 収益事業 : 施設外就労
軽作業
- ・東加古川病院清掃
 - ・安全興業（チェーンポール等梱包作業）
 - ・ハリマパッケージ（段ボール組立）
 - ・クリーニング京屋（タオルたたみ作業）
 - ・青山商店（輸出商品シール貼り）
 - ・パチンコ台解体
- 清掃作業
- ・施設内清掃
 - ・東加古川病院クリーニング
 - ・東加古川病院、緑寿苑12月エアコンフィルター換気扇清掃
 - ・雑木林清掃管理
- パン工房
- パン製造、販売、配達（安全興業、ロカッセ明石、ワークショップ絆）
- となっている他、スポットでの作業もおこなっています。
- 就労支援 : 1名の方が令和3年12月から東加古川病院洗濯場にオープン就労しています。
- 毎週金曜日午後から仕事のための勉強会、利用者同士で生活や対人面で困っている事を話し合うプログラムをおこなっており、毎回10名程度の方が参加しています。

III. 就労定着支援事業

- ・令和4年2月で1名離職し、現在の契約者は1名です。
- ・就労定着率は80.8%となっています。

IV. 就労継続支援B型事業 第2工房

- ・令和4年3月31日現在の契約者数 30名
- ・令和3年度新規契約者数 1名
- ・令和3年度契約終了者数 2名
- ・退所理由内訳

体調不良	就労	他施設へ	その他
0	0	2	0

- ・利用率及び平均工賃

	利用率	利用料	平均工賃
令和2年度	102.3%	43,159,865円	9,626円
令和3年度	100.6%	41,834,526円	8,220円

- ・活動報告

感染症対策をおこないながらサービスの提供に努めましたが、1月に利用者のコロナウイルスの感染（ご家族からの感染）が判明したため、1月20日（木）から1月26日（水）まで利用者は自宅待機としました。職員の陰性が確定した時点で、早急に在宅支援（ご家庭にて支援をおこなう）の手続きを各市町におこない、1月24日（月）から1月26日（水）の3日間は利用者の生活リズムの維持や不安の解消のために在宅支援を実施しました。その間、体調不良者は無かったため「てらだ内での感染は無い」と判断、1月27日（木）より通常通りの通所を再開しました。

- | | |
|---|--|
| <p>収益事業</p> <p>軽作業</p> <p>清掃作業</p> <p>農作業</p> <p>販売</p> | <p>：施設外就労</p> <p>・東加古川病院外周清掃（週1回）</p> <p>・安全興業（マルチキーパー等梱包作業）</p> <p>・青山商店（輸出商品シール貼り）</p> <p>・パチンコ台解体 等</p> <p>・てらだ内エアコンフィルター換気扇清掃</p> <p>・雑木林清掃管理</p> <p>・ネクスコ西日本PAハーブ園の除草作業</p> <p>・野菜の栽培、稲作</p> <p>・野菜の納品、販売</p> |
|---|--|

- レク活動 : 仕事への意欲を継続するため、感染症対策を徹底しながら月1回のレク活動を実施しました。外出行事は控え、施設内でできることを工夫し、楽しめる場と時間の提供、ストレス解消に努めました。

V. 地域活動支援センター事業

1. 契約者数等

- ・令和4年3月31日現在の契約者数 28名
- ・令和3年度新規契約者数 2名
- ・令和3年度契約終了者数 3名（てらだ就労B第1工房へ移行等）
- ・住所所在地内訳：加古川市20名、高砂市1名、播磨町3名、稲美町4名
- ・障害種別内訳：精神10名、知的16名、身体0名、重複（知的・精神）2名

2. 延べ利用者数 1月は濃厚接触者確認により7日間休業しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数 (人)	203	192	222	176	170	187	210	203	219	132	164	217	2,295
開所日数 (日)	24	23	26	24	21	24	25	24	25	16	21	26	279
1日平均 (人)	8.5	8.4	8.5	7.3	8.1	7.8	8.4	8.5	8.8	8.3	7.8	8.3	8.2

3. 補助対象となる利用者数（人）：月5日以上、年60日以上来所の利用者

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
加古川市	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	13	158
高砂市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
播磨町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
稲美町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
合計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	215

4. 運営補助金額：13,100,000円

加古川市	高砂市	播磨町	稲美町
9,630,000円	730,000円	2,071,000円	669,000円

5. 活動内容

ボランティアによる活動及びカラオケ、調理関係のプログラムは新型コロナウイルス感染防止の為に、休止をしました。具体的にはミーティング、誕生会、お仕事タイム、てらだCafé、作品作り、茶道練習、ウォーキング、リラックスタイム、書道練習、花見、BBQ、夏祭り、新年会、節分、ひなまつり等を実施しました。地域住民研修会はWEBで実施しました。

VI. 相談支援事業

1. 計画相談支援・障害児相談支援

指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の契約者数は、令和4年3月末時点で、447名です。昨年度と比較すると、19名の減（新規契約21名、契約終了40名）となりました。請求件数は、年間2,176件（前年度2,276件）、月平均181.3件（前年度189.6件）となりました。

事業所体制としては、令和3年度の報酬改定に伴い、特定事業所加算(Ⅱ)から機能強化型サービス支援費(Ⅰ)となりました。

職員体制については、令和3年4月に相談支援専門員1名が退職したため、6名の相談支援専門員で相談業務をおこないました。

令和3年6月と8月にそれぞれ1名ずつ「主任相談支援専門員養成研修」を修了し主任相談支援専門員2名、令和3年6月と令和4年2月にそれぞれ1名ずつ「相談支援従事者現任研修」を修了し現任研修修了者が合計3名となりました。また、令和3年12月に相談支援専門員1名が「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了しました。

各研修修了にともない、主任相談支援専門員配置加算と要医療児者体制加算を算定しました。

相談支援事業の充実を図るため、加古川市や高砂市、播磨町の自立支援協議会へ出席、加古川市内の主任相談支援専門員の連絡会に参加しました。

2. 指定一般相談支援事業

地域移行・地域定着支援については、令和3年度中のサービス依頼や提供はありませんでした。

3. 受託事業

相談支援機能強化事業を播磨町・稲美町より受託し、専門職員を窓口に派遣して相談業務をおこないました。

〈令和3年度の各町からの受託料〉

稲美町（火曜日）※令和3年度で終了	1,174,000円
播磨町（金曜日）	1,173,000円
合計	2,347,000円

4. 感染症や災害時の対応

令和3年度も「福祉専門職対象防災対応力向上研修」に参加しました。

感染症対策としては、利用者の体調や希望に合わせ電話での相談をおこないました。新型コロナウイルスによるサービス変更について、事業所との連絡をおこないながら対応しました。